

# 一般入試前期A日程2日目

## 国語

### I

出典 「天文の世界史」(廣瀬匠) 集英社

出題箇所は、古代ギリシアから近代の宇宙論までを丁寧に解説した箇所です。自然科学分野からの出題です。論旨も明快で内容を理解するのもさして難しくはないでしょう。

**問1【漢字の書き取り問題】**(解答番号は①～⑤)

a循環 b精度 c差異 d丹念 e媒質 が正答。同音異義語がほとんどなく、5問の出題のため、15%の受験者が全問正答でした。媒質はほとんどの受験者が書けていました。

**問2【文脈把握による空欄補充】**(解答番号は⑥)

正答は③で、77%と多くの受験者ができていました。

**問3【文脈把握による空欄補充】**(解答番号は⑦)

正答は①。2頁中程に「プラトン」と「理想」という言葉がヒントで、正答率は73%。

**問4【文脈把握による空欄補充】**(解答番号は⑧)

正答は④で、「ほとんど…でした」が最大のヒントです。正答率は80%と大半の受験者が正答でした。

**問5【文脈把握による空欄補充】**(解答番号は⑨)

前後の文脈から93%とほとんどの受験者が正答②を選んでいました。

**問6【文脈把握による空欄補充】**(解答番号は⑩)

正答は③。前後の文脈から「もはや」と「問われることはありません」が正答になり、77%の受験者が正答を選んでいました。

**問7【文脈把握による空欄補充】**(解答番号は⑪)

正答は⑤で、正答率は65%。まず「地球」が問題となっているため、①～③は除外。また、次文の「これに反して…実際に」という言葉から正答を導くことはさほど難しくはないでしょう。それでも分からなければ、ソフトテニスボールなどで想像してみてください。

**問8【文脈把握による内容理解】**(解答番号は⑫)

正答は⑤。「空間と時間」の内容を読めば、正答を導くことは容易でしょう。正答率は92%。

**問9【文脈把握と理由説明】**(解答番号は⑬)

正答は④。「神話」と「哲学」との違いを考えれば、正答を得られるでしょう。正答率は88%。

**問10【文脈把握による内容理解】**(解答番号は⑭)

正答は②。前後の文脈から正答を導けるでしょう。実際、98%の受験者が正答を選んでいました。

**問11【文脈把握と理由説明】**(解答番号は⑮)

正答は④。①と⑥が不正答であるのは、それぞれ「インドには存在しなかった」と「確立した」という文言によります。また⑤については、本文の「時代が下り」という文言から、これはパラメーシュヴァラ以前の内容の記述のため不正答になります。正答率は79%。

**問12【内容理解による小見出し選択】**（解答番号は16）

正答は⑥で、正答率は28%。②を選択した受験者が多かったようですが、本文では②に加え「でも」という文言があること、および最後の段落で強調されている「意識の変化」の内実を考えると正答を得ることができるでしょう。

**問13【内容理解による小見出し選択】**（解答番号は17）

正答は④。正答率は90%と多くの受験者が正答を選択していました。

**問14【内容合致】**（解答番号は18）

正答は⑤で、正答率は50%。多くの受験者が③を選択していましたが、本文2頁には「よく見られる」との文言があり、「時折」とは意味が異なりますので不正答です。

## II

出典 『森林と人間』（石城謙吉）岩波新書

人間が自然とどのように接してきたかということをテーマに書かれた内容です。本文中には西洋と日本との対比もあり、ややこしいと感じる受験者もいたようですが、内容を確認しつつ読めば難解な文章ではありません。

**問1【漢字の書き取り・読みの問題】**（解答番号は19～25）

全問正答者はいませんでした。「東進」が意外と書けていませんでした。漢字を書いた後には文脈を見直して、その漢字で意味が通じるかを確認するようにしましょう。

**問2【空欄補充】**（解答番号は26）

正答は②。1行前の「本来の自然にはない生物相をつくるもとになった」から正答を導けます。正答率は65%でした。

**問3【空欄補充】**（解答番号は27）

正答は③。ヨーロッパにおける自然への対応を押さえる必要があります。正答率は80%とよくできていました。

**問4【内容説明】**（解答番号は28）

空欄 **甲** の前段に「自然を大きく変えることなく、地域と場所の特性に合わせた集約的な土地利用の上に、農耕文化と森林文化の融合が成り立っていた」がヒントです。正答は③です。受験者には難しかったようで、正答率は43%でした。

**問5【内容理解】**（解答番号は29）

正答は⑤。「象」の例えを理解することが肝要です。正答率は80%でした。

**問6【内容把握】**（解答番号は30）

正答は⑦。③と⑥を選択した受験者がいましたが、③は「近年」、⑥は「日本古来」が間違いの箇所です。正答率は58%でした。

**問7【内容把握】**（解答番号は 31）

正答は⑤。「模型の船」に関わる記述内容を把握する必要があります。正答率は87%とよくできていました。

**問8【内容把握】**（解答番号は 32）

正答は①。「適当でない」ものを選択する必要があります。指示詞が何を指すかに注意しましょう。正答率は77%でした。

**問9【内容理解】**（解答番号は 33）

正答は⑤。正答率は75%でした。①を選択した受験者が多かったです。①は「現代にいたるまで森林文化を駆逐している」が間違いです。

**問10【内容把握】**（解答番号は 34）

正答は⑥。受験者には難しかったようです。①は「政府所有の雑木林」、②は「合理的な自然への思考を真似て森を開発」③は「資源倍増を目的とし自然」、④は「景観の一要素でしかない雑木林」、⑤「人工林を針葉樹に変換」がそれぞれ間違いです。正答率は25%でした。

**問11【語句の意味】**（解答番号は 35）

正答は⑥です。文章を丁寧に読めば難しくはありません。正答率は58%でした。

**問12【小見出し】**（解答番号は 36）

正答は⑧。産業革命などで森林文化がなくなっていく内容を押さえる必要があります。正答率は63%でした。

**問13【小見出し】**（解答番号は 37）

正答は①。雑木林のなくなっていく状況について書かれていることを押さえる必要があります。正答率は20%でした。

**問14【内容合致】**（解答番号は 38）

正答は③・⑦。正答率は12%でした。①「急速に西日本各地に伝わる」、②「日本に稲作が伝来した当初から～重要な役割を担っていた」、④「東亜半月弧」、⑤「一五世紀～農業地となり」、⑥「アメリカ大陸からの搾取」、⑧「近代経済機構にとって失敗」、以上が間違いの箇所です。